

■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井博文



■ 優秀選手の表彰式に出席しました

全国には6つのオートレース場があります。「山陽場（さんようじょう）」はそのうちの1つです。オートレースの選手は現在、全国に465人いて、どこかのオートレース場に所属しています。その選手のうちで、昨年もっとも活躍した選手10名が、2月3日東京でJKA（6場の上部組織）から表彰されました。山陽場からは岡部選手が特別賞を、また小林選手は60周年特別表彰を受けました。私も表彰式に出席して2人を祝福し、日ごろの労をねぎらってきました。

オートレース業界は、長引く景気の低迷などからどこも苦しい経営を強いられています。勝車投票券（当たり車券）の払戻率は売上げの75パーセント。この率を少しでも引き下げてもらえれば、経営の苦しさも緩和されるのです。ちなみに宝くじの払戻率は、すでに売上げの50パーセントを割っています。オートレース事業に取り組む自治体で「施行者協議会」を作り、担当大臣に改定を要望しているのですが、今のところ芳しい反応がありません。この日も来賓として出席した経済産業省の担当課長に私から重ねて申し入れておきました。法律の改正が必要なだけに、実現には時間がかかりそうです。

山陽オートレース場も苦しい経営が続いています。委託契約により最低保障額1億1,000

万円を受け取っていますが、その民間委託も残り2年となりました。

■ 幹部飛行学生激励会に出席しました

みなさんご存知のとおり、小月には海上自衛隊の基地があり、全国から集まる幹部候補生に対しパイロット養成の基礎教育を実施しています。基地そのものは下関市にありますが、隊員は大半が埴生の官舎に住んでいて、山陽小野田市民です。そうしたご縁で、山陽小野田市長あてに入隊式その他の行事の案内があり、私も努めて出席するようにしています。小月の自衛隊は山陽地区に続く「金曜会」（地元の産官で構成する会）のメンバーであったり、本市の市民まつりで沖縄のエイサーを踊ってくれたりして、市に協力してくれています。また昨年7月の厚狭の水害時には、自衛隊の判断で給水車が出動し、被災者に援助の手を差し伸べてくれたことも記憶に新しいところです。

2月4日埴生で、恒例の幹部飛行学生激励会が開かれ、私も出席しました。学生のキリッとした制服姿に自分の青春時代をダブらせながら、懇親を深めたことでした。

対話の日

2月24日(木) 19:00～
津布田会館

3月24日(木) 14:00～
石井手自治会館